

浜松観光ボランティアガイドの会

## “はままつ案内人” 新人養成講座（現地研修）

【第8回 3月3日(月)】

家康の散歩道前半(城内・城下ルート)。あいにくの雨となりました。雨の具合と気温の低下を心配しつつ三々五々集合しました。新人 16 名、26 期 4 名、役員・研修部員 12 名の計 32 名を 4 グループに分け、9 時 30 分 天守閣前広場を出発。日本庭園東側から公園駐車場⇒元城町東照宮を經由して、玄黙口⇒ホンダ発祥の地などを説明しながら通過し、続いて椿姫観音⇒浜松八幡宮に到着しました。八幡宮内は見所満載で研修部員も熱の入った説明をされていました。新人からは普段素通りして



五社神社手水鉢前

いろいろな史跡があるのかと感心の声がありました。次に秀忠誕生の井戸⇒遠江分器稲荷神社⇒五社神社・諏訪神社を見学しました。入会手続き並びに配属が既に決まったこともあってか、ガイドをする立場としての質問が多くありました。その後、心造寺⇒浜松秋葉神社⇒藩校跡⇒浜松城出丸跡を通過して、公園事務所へ。雨と傘の破損など数々のトラブル発生も、思いのほか気温は低下せず無事にほぼ時間通り到着しました。

【第9回 3月10日(月)】

家康の散歩道後半(合戦ルート)。晴天に恵まれ風もなく、絶好の研修日和となりました。新人 16 名、26 期 4 名、役員・研修部員 12 名の計 32 名を 4 グループに分け、9 時 30 分 天守閣前広場を出発。松城緑地の馬冷(うまびやし)を經由して普濟寺へ移動しました。金指近藤家の陣屋門を移築した総門を抜け、「東海曹洞」の勅額がある山門、雲夢橋、北山稲荷とテンポ良く移動と説明が続きました。普濟寺を後にして坂を上り西来院へ。築山御前の廟所(月窟廟)や家康異父弟の松平源三郎

康俊墓碑など多くのお墓を巡りました。次に参道を下り宗源院へ。家康家臣団の墓を中心に周りながら、臨機応変な説明の重要性を随所で研修部員が語っていたのが印象的でした。旧浜松高等工業学校跡地にある西部協働センターへ移動し休憩しました。その後、旧奥山線跡の遊歩道を通り、広沢駅跡レリーフや亀山トンネル内の旧奥山線の写真などを確認しながら浜松城公園事務所へ移動しました。一度の研修では覚えきれない内容ですが、これをスタートとして自己研鑽することの重要性を説明し、新人へのエールが送られました。

【第10回 3月17日(月)】

浜松駅周辺。心配された昨日の雨は上がりましたが、曇りがちの風が強い日となりました。新人 18 名、26 期 2 名、役員・研修部員 13 名の計 33 名を 3 グループに分け、9 時 30 分 浜松駅南口出発。まずインフォメーションセンターにおいてセンターの方からご挨拶をいただき、グループ別に順次駅周辺の 67 ポイントを巡りました。浜松駅でのガイドでは様々な種類の質問が来浜者より提起されます。ロッカー、トイレ、食事処、見どころ、土産、コンビニなど。少なくとも自分の脚で歩いてそれらの場所を知り、詳細はインフォメーションセンターにあります資料を活用くださいとの研修部員コメントがありました。浜松



27期新人 ショパンの丘

駅構内と駅南と西側を経て、駅東側ではショパンの丘にて参加 27 期全員で写真撮影後、アクト周辺及び楽器博物館を周り、広小路の羊歯具足電柱の起点(浜松城につながる 108 本)に全グループ集合し 12 時少し前に解散できました。

広報部 長田勝久(西ブロック)

## 中ブロックミニ研修 旧西区周辺を周る

2月21日(金)、中ブロック18名が参加して旧西区周辺を周るミニ研修会を開催しました。中村家住宅、息(おき)神社、安寧寺、ウオット、うなぎパイファクトリーを巡るコースです。普段は浜松市中心部を主に活動拠点としているため、なじみが薄い旧西区ですが中村家住宅は家康公の二男・結城秀康公がお生まれになったお屋敷ですし、息神社は結城秀康公の産土神、安寧寺は家康公を武田軍から逃れさせたという伝説もあり、ご紹介することができて個人的にもうれしかったです。またウオットは浜名湖を知るには最適の施設ということを知りましたし、うなぎパイファクトリーが他県のお客さまに大人気の理由もわかった気がしました。

今回初めてミニ研修の幹事を担当しましたが、いつもは先輩方に作っていただいた資料を片手に



中村家住宅前にて

楽しむだけだったので、資料の作成や下見、各方面への連絡など今まで幹事をされた方々に頭の下がる思いでいっぱいでした。不慣れな点多かったこの経験を次に活かしていきたいと思います。

中ブロック 中村香苗

## 西ブロックミニ研修 AED 心肺蘇生救急講習



2月18日(火)午前のブロック会のあと、午後1時30分から2時45分までAED心肺蘇生救急講習がありました。参加者は西ブロック9名、中ブロック1名が参加して消防署富塚出張所で、中消防署員3名の方の指導で行われました。

でも、ボランティアガイドに救急講習など必要あるのかな、と思う方もいるかもしれません。考え過ぎかもしれませんが、思いがけない場面にも対応できるよう、救急処置などを知っておくことも無駄ではないと思います。西ブロックでは、年に一度くらいでこのような消防署関係の研修を実施していき、意識の向上に役に立っています。と言っている私ですが、AED講習を受けるのは



胸骨圧迫(心臓マッサージ)

5年ぶりくらいで、変わっている手順や呼び名とか、自分が忘れていた部分に戸惑いました。



講師の消防署員の方3名と

例えば、以前心臓マッサージと呼んでいたのに胸骨圧迫になっていたり、…。加えて、AED自体機種も新しくなっているせいか誤った動作をしたり、…。

今回は諸事情が重なり、参加者が少なかったのですが、参加されたみなさん熱心に質問も多かったようです。中にはAED操作の役を2回された方も。そして実際に体験できる講習を受けることができ、皆さん満足そうでした。

広報部 古山貴朗(西ブロック)

## 新入会員の入会動機



「どうする、光武！カレンダーの予定が真っ白じゃん！」昨年8月末まで、バイトをしていたトビオプールが、改修工事のため失業中。ハローワークやシルバー人材センターへ行くも、年齢に合う仕事が見つからず。履歴書を送ってもそのまま返却されて、いささかプライドが傷ついていた頃、先輩の鈴木延夫さんに相談したところ、一緒に犀ヶ崖資料館まで案内して頂き、やってみようかなど。以前、仲間内でレンタカーで岐阜城や小田原城へも遊びに行き、城や歴史に興味があったものの天守閣までの坂道や階段で、若いうちに行けばよかったと後悔する年齢に。朝は浜松八幡宮境内でラジオ体操、その後散歩して一日一万歩を目指して足腰を鍛錬。ガイドの知識は、アンテナを高くして認知症予防のため一生勉強を。尚、私の実弟小林たつよしが、徳川家康のマンガを小学館より出版しているので宣伝、よろしく!!

東ブロック 小林光武



私は高校を卒業して以降、しばらく生れ育った浜松を離れておりました。その間、仕事の関係などで静岡、沼津、名古屋、尾道、鳥取などいろいろな土地に住んで、その成り立ちについて聞いたり各地の良さに触れてきました。昨年、数十年ぶりに浜松に戻ってきましたが、友人と話しをしても浦島太郎な状態で、今まで浜松のことを勉強もしていなかったしあまり知らなかったと痛感しました。そこで、あらためて浜松について知りたい、そしてそのいいところをできれば他の人にも伝えられたらと思い今回観光ボランティアに応募させていただきました。

最近、元々の歴史好き、またにわかブラタモリファンなのもあって、東海道五十三次を歩いたり、各地のジオパークなどに足を運んで楽しんでいます。

中ブロック 細井康弘



私は古典が大好き。日本史が大好き。時間が出来たらその世界で遊ぼうと思っていました。ところが、自治会副会長の任期もあと半年となった昨秋、近所の友達から「自治会が終わったら次は何をするの？」と聞かれたのです。そうか、やはり何かしているのが私か。その頃、広報はままつに、観光ボランティアガイドの募集が載っていました。でも迷いました。私の興味の中心は奈良・京都で、家康ではありません。近年は郷土史にも興味が湧いていましたが、きっかけは直虎で、やはり家康ではないのです。年末まで迷った後、だからこそ感情移入無しで勉強できるかも知れないと思い、応募することに決めました。浜松城や犀ヶ崖資料館で活躍される先輩ガイドさんたちの姿は以前から存じ上げていました。少しずつ見習って行きたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

南ブロック 渥美恵子



私の入会動機は、会員として活躍されている方からの、お声掛けからでした。その後、暫くの期間がありましたが『観光ボランティア』は、記憶として私の心に引っ掛かっていました。ただ「この私に出来るだろうか？」という迷いや躊躇いも併せ持っていました。私は、還暦を過ぎた頃から湧き上がる思いのまま、各地の博物館・古墳・城跡等を巡る旅を重ねてきました。どうして？と言えば、思いを巡らす事が自身の感性に合っていたのだろうと思います。しかし知識とすれば、疎らな点ばかりでした。やはり系統的知識の方が、面白さは段違いでしょう。入会の一因も、知らない事を知る事なのです。振り返れば、私の人生の分岐点には『火焰型土器』と言う縄文土器の存在がありました。その度に力強い造形が、「前へ進めよ！」と私の迷いを振り払ってくれました。今回『火焰型土器』の圧倒的なお姿に後押しされた次第です。

南ブロック 田中恒子



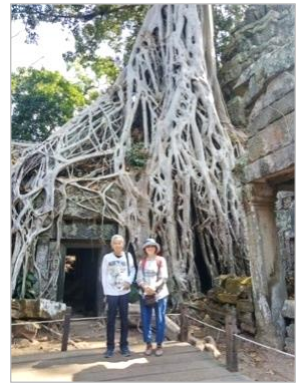
2025年1月30日～2月3日、中学時代の友人と、一生に一度は訪れたい世界遺産として、世界各国の人気を集めているカンボジア北西部にあるアンコール遺跡群の観光に行きました。観光ベストシーズンと言われている乾季で、気温は25℃～30℃と過ごしやすい気候でした。黄砂の様な物が漂い、日の出や夕暮れ時には、



筆者とアンコールワット日の出がありました。ベンメリアでは、神秘的な遺跡を楽しみました。“森の木と緑とポルポト政権時代に石積が破壊され瓦礫となった風景”を宮崎駿が「天空の城ラピュタ」で参考にしたとも言われています。

影絵の様な風景が広がっていました。遺跡は約900年前、森の中に石を積み上げて作られた巨大寺院です。台風や地震がない地域ですが、何らかの原因で崩壊が進んでいるところがありました。ベンメリアでは、神秘的な遺跡を楽しみました。“森の木と緑とポルポト政権時代に石積が破壊され瓦礫となった風景”を宮崎駿が「天空の城ラピュタ」で参考にしたとも言われています。

タプロームでは、樹齢300年のガジュマルの根が900年前に作られた遺跡をのみこむように張っている姿が、破壊している様に見える不思議です。アンコールワットでは、日本の侍が江戸時代初期に落書きをしたという場所を見ましたが、何が書いてあるか全く分かりませんでした。プリアコーでは、近くの孤児院を訪ねました。そこでは、孤児が作った影絵を買いました。シェムリアップの街では、自動販売機はありませんでしたが、コンビニを一軒見つけました。子供が多く老人は殆ど見かけませんでした。みんな穏やかで、ポルポトのイメージはなく、今後発展していくと思われます。



ガジュマルの根と遺跡

東ブロック 戸塚正康

～訂正とおわび～

はままつ案内人会報3月号(272号)の3ページに誤りがありましたので訂正しておわびいたします。会員の交流広場「ミュージカルゆかりの地を巡る旅」の投稿者名 誤:飯田梨絵 ⇒ 正:飯田梨恵

2025年度 会員数 (2025年4月1日現在)						
	東ブロック	西ブロック	南ブロック	北ブロック	中ブロック	合計
継続会員(男性)	14	16	15	18	15	78
新入会員(男性)	4	0	3	1	2	10
継続会員(女性)	6	11	6	5	7	35
新入会員(女性)	1	2	2	2	2	9
合計	25	29	26	26	26	132

3月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

- 11日 火 オイルチェンジヤマオキ 12名
- 15日 土 浜松ユネスコ協会 10名
- 27日 木 桜を愛する会 25名
- 28日 金 三組町子ども会 25名
- 29日 土 阪急交通社 35名

《浜松まつり会館》

- 7日 金 JAグリーン長野年金友の会 19名
- 9日 日 まつり会館サンキュウ感謝 DAY 413名
- 13日 木 ゆうゆうの里 26名

《犀ヶ崖資料館》

- 9日 日 掛川歩こう会 28名
- 15日 土 浜松ユネスコ協会 8名

はままつ案内人会報 273号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
 〒430-0946 浜松市中央区元城町100-2 (浜松城内)  
 TEL 053-456-1303  
 メールアドレス [mail@hama-svg.jp](mailto:mail@hama-svg.jp)  
 ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

はままつ案内人

検索



家康公ゆかりの地